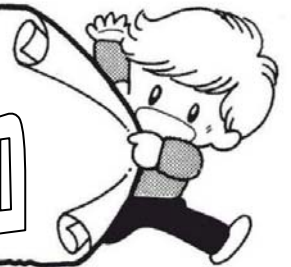


◎ NPO会計事務のお助けマン

宮崎税理士が4月より参加



宮崎さんは NPO 活動や内情に精通した方で、NPO の私たちの状況を良く理解してくださり、何より格安の報酬を提案して頂くことができ、NPO にとって感謝感激の税理士さんです。

NPO 会計士の参加は、会計事務の透明性を確実のものとし、正確な財政状況をみなさまに報告出来る事ができ、私たちの希望が叶い安堵しています。

新年度からも、さらに信頼度アップに励む、NPO にご期待ください。

座談会

「町おこしのアイデア」

昨年、公民館チャレンジ事業「ニホンザリガニを通して赤平の自然環境を探る」など、赤平の自然を見直す3回にわたる講座を担当していただいた、齊藤和範先生(道立旭川高等看護学院非常勤講師)を囲んで「町おこしのアイデア」を話し合う座談会を2月17日に開きました。札幌から写真家の林さん、

中富良野町でニームというハーブを使っの減農薬農業にチャレンジしながらバングラデシュやタイの村おこしのお手伝いをしている奥田さんが参加してくださいました。これからの町おこしは自分たちの町にある物を見直し、自然環境を守る事に焦点を当てて進めていかなければならないというお話しに参加者全員納得。さまざまなジャンルの人々が集まって、和気藹々と楽しいながらも有意義なタベでした。それぞれ立場や住む地域が違うと物の見方も大きく違う、小さな町に住んでいても目と耳を全開にしておくことが大切と思いました。

<奥田さんからのコメント>

中富良野から飛び入り参加の奥田です。こちらで就農して4年目ですが、齊藤先生のお話は、今後の農業経営を考える上でも参考になりました。

また、私はバングラデシュなど海外の農村の村おこしの活動に関わっていますが、自分の地域の良い所を発見し活かしていくことが大切であるということは同感です。

終了講座のその後も追いかけて!

世界的彫刻家

ながれ まさゆき
流 政之氏

応援隊発足

04, 9, 11 近代美術館・流彫刻展オープニングセレモニー参加型公民館講座に参加して～それから後、流応援隊が発足しました。

【流先生のユニークな人柄に触れ、赤平の勇士が津軽三味線を猛特訓しオープニングパーティにご披露した記事がJR車内誌3月号に載っています。】

05, 3, 25 赤平流応援隊が四国高松の流スタジオ見学旅行に出発します。

広大な景色が広がるスタジオ見学のおみやげ話を、後日紙面にてお楽しみください。

<流 政之氏プロフィール>

1923(大正12)年、長崎生まれ。父は、立命館大学の創始者。零戦パイロットとして終戦を迎える。その後、各地を放浪、独学で石彫を始める。1962年渡米。75年ニューヨークのワールドトレードセンターに「雲の砦」を制作。77年に奥尻島に渡り、4年がかりで「北追岬」を制作。99年には、七飯町大沼でJR北海道の「流山温泉」と「彫刻公園ストーンクレージの森」開発プロジェクトに取り組んだ。道内にも40数点の作品がある。

